

令和8年度

学校自己評価表（計画）

学校運営計画		
学校運営方針	1 コミュニティ・スクールとして、地域と協働し、魅力ある学校をつくる。 2 生徒一人一人の成長と進路希望実現のため、きめ細かな進路指導を行う。 3 決められた勤務時間の中で成果を上げる教育活動、働き方を目指す。	
三つの方針(スクール・ポリシー)		
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	①自分と社会の関係性を見つめ、他と協働しながら取り組む力を育成します。 ②複雑化する社会や地域に関心を持ち、様々な考えを受け入れる力を育成します。 ③好奇心をもって自ら学び続け本質を見極めようとする姿勢と力を育成します。	
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	①あらゆる進路に対応できるよう3つのカリキュラムを設定します。 ②少人数制により個々にあったきめ細かな指導を行います。 ③地域と連携し、地域資源を活用した教育活動を行います。 ④生徒が興味をもった題材を地域の大人が伴走し、プロジェクト学習に取り組みます。	
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	①地域の活性化に興味を持ち、学びを深めたいという意欲をもつ生徒。 ②個性を認め合い、他者と協働して粘り強く努力する生徒。 ③主体的な探究意欲にあふれ、積極的に学習に取り組む生徒。	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標
・ これまで、地域の方々の支援を受け、課題解決型学習や各種体験活動を様々な場面で実施してきた。今後は、総合的な探究の時間や各教科における探究的な学びをより一層推進し、生徒の資質・能力の向上を図る。 ・ 生徒が学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的に自立できるような授業実践を継続する。 ・ 昨年度は、人権教育、同和教育公開授業を実施し、地元小・中学校の教職員、阿賀町教育委員会から参観いただいた。また、阿賀町の人権教育講演会に参加することで、小・中学生とともに学びを深めた。今年度は、北朝鮮による日本人拉致問題に関する学習に取り組む。 ・ コミュニティ・スクールの活動をより一層地域に浸透させるために、各種メディアやSNS等の効果的に活用し、学校活動の広報に積極的に取り組む。	○ 地域と連携した教育の一層の推進と学力の向上	・ 地域と連携した教育の推進 ・ 家庭学習習慣の確立
	○ 主体的に学ぶ力を育成する授業実践と生徒の個に応じた指導	・ 指導方法の工夫改善と個に応じた授業の展開 ・ 教職員のICT活用力の向上のための相互支援、研修の実施
	○ 豊かな人間性と社会性の涵養	・ 基本的生活習慣の確立 ・ 生徒指導体制の充実 ・ 人権教育、同和教育の推進（北朝鮮による日本人拉致問題に関する学習の実施）
	○ コミュニティ・スクールとしての情報提供の充実	・ 学校活動の校外への情報提供活動の充実（生徒からの協力体制の構築）

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価
地域と連携した教育の一層の推進と学力の向上	地域と連携した教育の推進	「阿賀町さいこうプロジェクト」において、地域の方々との関わりを通じて、協働性や主体性、探究力を身に付けさせる。	
		地域と連携した生徒会行事を実施する。	
主体的に学ぶ力を育成する	家庭での学習習慣の確立	家庭学習状況のアンケートや「手帳」の学習記録欄などへの振り返りを通して、生徒に学習時間の大切さを意識させ、学習の改善に努めさせる。	
授業実践と生徒の個に応じた指導	指導方法の工夫改善と個に応じた授業の展開	個々の生徒に対し、頻繁に面談を行い、きめ細かな指導を行う。	
		進路ガイダンスやLHRを活用し、生徒の進路意識を啓発するとともに、多様な進路情報を収集できる機会を提供する。	
豊かな人間性と社会性の涵養	教職員のICT活用力の向上	教職員対象ICT活用研修を実施し、学校全体で、授業等でのより効果的な活用を推進する。	
		基本的な生活習慣の確立	
	生徒指導体制の充実	面談や個々に応じた学習支援、日々の声かけ等を通じて、積極的に他者と関わろうとする態度を育成する。	
		教職員間及び学校と寮との間で定期的な情報交換会（ケース会議）を開催する。情報は会議で共有するほか、回覧等で全職員に周知する。	
人権教育、同和教育の推進	生徒の企画、立案により、充実した生徒会行事を実施する。		
	定期的な「心の健康観察」の実施により、生徒の状況を把握し、組織的に教育相談、支援を行う。		
コミュニティ・スクールとしての情報提供の充実	学校活動の校外への情報提供活動の充実	人権教育、同和教育に関して、生徒の学習履歴を調査し、生徒の学習段階に応じた授業を実践する。	
		公式Webページ、note等を適宜更新する。更新にあたっては、生徒から協力を得られるような体制を構築する。	
成果		P T A総会等行事の開催日程を、多様なメディアを活用して、保護者へ早期に案内する。遠方の保護者の参加を可能にするため、P T A総会のWeb配信を行う。	総合評価